

瀧本委員（民主県政会）

平成 25 年 3 月 8 日

知事答弁実録

（教育委員会）

（問）県立学校耐震化の加速について

平成 27 年度末までには、今からまだ 3 年もあることを考えると、現在の目標に安住することなく、耐震化の取組を加速させて、目標年次の更なる前倒しを目指していくべきだと考える。

このためには、必要な財源の確保だけでなく、従来の発想にとらわれない画期的な取組をしていくことが必要である。例えば、今年度は教育委員会と土木局が連携し、経費削減、工期短縮、事業の前倒しに取り組んだと聞いている。

そこで、平成 27 年度末までの県立学校の耐震化の確実な完了を目指すだけでなく、工法についても、従来のやり方にとらわれない画期的な取組をするなど、県立学校耐震化の 27 年度末という目標年次を少しでも前倒しできるよう、取り組んでいくべきと考えるが、知事の所見を伺う。

（答）

県立学校施設の耐震化対策につきましては、平成 27 年度末までに耐震化率 100%を目指すという、これは高い目標だと考えておりますが、この達成に向けて昨年度から積極的な取組を進めているところでございます。

今年度の取組といたしましては、低強度コンクリートの取扱を見直しまして、前倒しで補強工事を進めるとともに、部室などの小規模建物につきましては、リースを活用した新たな手法を取り入れて、工期短縮とコスト縮減を図ったところでございます。

県といたしましては、今後とも耐震化工事を着実に進めて、平成 27 年度末までの耐震化完了に向け、全力を挙げて取り組んで参ります。